

支部だより

関西支部

ロシア経済の講演と合唱で盛り上がる総会
大塚圭一郎 (F平9)

東京外語会関西支部総会が4月17日、大阪市北区の東洋ホテルで開かれ、大阪産業大学教授の大津定美氏 (R昭39) が「ロシアの経済回復は本物か」というテーマで講演した。82人が参加した。大津氏はロシアの現状を「社会主義が崩壊し、長い後退のトンネルを経て、少し光明が差した」と説明。国内総生産 (GDP) は通貨危機後の1999年からプラス成長が続いており、昨年は前年比7.1%増だったことを例示し、こうした近年の経済成長は「日本と比べても良い成績で、モスクワの目抜き通りも深夜まで明々としている」と語った。その一方、モスクワの繁栄の陰に隠れがちな不安材料も紹介した。外国からの投資は、石油や天然ガスが多いため「経済は海外へ行って国内に広がらず、経済の二重構造化が起きている」と指摘。さらに依然として貧困にあえぐ地方や、極東の人口流出もマイナス点として挙げた。その上で、所得分配で貧しい人はもらえない「ワイングラスタイプ」と、全体に行き渡る「生中 (ピールジョッキ) タイプ」のうち、ロシアは「生中タイプになるよう、地方の雇用と所得を高めるよう真剣に努力しないとイケない」と訴えた。

また、4年連続で駆けつけてくださった東京外語会の中村博理事長 (E昭29) は、東京外語会が「終身会費を効率良く集め、財政基盤を確立することが必要だ」と力説。そのために、前三井物産社長の清水慎次郎氏 (Po昭36) らを理事にスカウトしたことを明らかにした。大阪外国語大学同窓会「咲耶会」の磯田良一会長は、東京外国語大学とのかかわりをこう振り返った。「学生時代は陸上競技部に入っていたので、外大戦では『憎き東京外語に勝つ』と闘志を燃やして2勝2敗で卒業した。しかし、そのおかげで東京外語に多くの知友を得ることができた」。

総会後は恒例の懇親会となったが、例年とひと味違ったのは「ロシア民謡」の大合唱が催されたこと。これは講演のテーマに合わせるとと

もに、1950-60年代に学生らが集った「うたごえ喫茶」を懐かしんでもらう一石二鳥の企画だ。田中穂積氏 (Ic昭43) ら「奈良ギター合奏団」のメンバー3人によるギターやマンドリンに合わせ、「仕事の歌」や「囚人の歌」などを一同熱唱した。さらに、大津氏の教え子だった留学生のナスチヤさんも登壇し、ブランテルが1942年に作った「カチューシャ」をロシア語で披露して拍手を浴びた。団塊の世代の同窓生からは「懐かしい」「そういえば学生時代に歌ったなあ」といった感想が聞かれ、盛況の内に幕を閉じた。来年は4月16日、今年と同じく東洋ホテルで開催する予定。関西支部は小杉裕二支部長 (Ic昭23) は健康上の理由もあって退任し、後任に西尾富巳男氏 (R昭25) が就任した。



ブエノスアイレス支部

神谷 衛 (S昭29)

アルゼンチンは、嘗ては世界の穀物倉、牛肉の国、銀の国とも称され、ヨーロッパからも憧憬された豊かな国でした。しかし今は社会不安と危機潰けのデフォルトの国です。主として商社、銀行、船会社、外交官等はほぼ駐在員の皆様と戦前からの大先輩が集まり、一時は30名近くに及んだ当地外語会も今は何と3名だけの残された者のささやかな会となりました。それぞれ約40年に互って脇目もふれず懸命だった3人が集まるのは、やっと最近数年でしょうか。お互いがよく生き抜いているなど感心しながら、ノスタルジーと各地の皆様の集まりの温かさに魅されて自然に集まって来た感じです。言葉の中にはAUTHORITY (権威、組織) からのものとか心からのものの2つが同時にあるといわれますが、権威抜きの集まり、それぞれ歩いた道も身近な

もの、お互いが身を省みて、慈愛と敬意に満ちた、年数回の集いです。しかし漸く、最近室井様が再度ご赴任され、やっとクワルテットになり、レパトリーもブラームス調からモッサルトに広がり愉しくなりそうです。特に先輩、恩師、同輩の皆様、駐在でも旅行者でも、何処からでも来てください。或いは何でも吐露してください。4人で精一杯歓迎したいと思います。外語会は良きセラピーです。会員：広瀬佳典（S昭32）、肥田章子（S昭40）、室井英一（S昭50）、神谷 衛

モントリオール支部発足

阿部正宏（E平4）

去る2004年7月14日（月）、金子眞哉（U昭43）、角田実（R昭52）、天野百絵（E平11）、宇都宮聖加（F平14）、阿部の5名を会員として外語会モントリオール支部が結成されました。当日の夜は、発起人の金子JETROモントリオール所長の事務所に会員4名（天野は急病のため欠席）が集まり、事務所内応接スペースを借りて発足の乾杯を行いました。支部長を角田、幹事役を阿部が務めることとなりました。その後、モントリオール市内の日本料理レストラン「桜ガーデン」に於いて記念晩餐会が開かれました。互いの近況に関する情報交換の他、外語大生時代の思い出話に花が咲き、先輩会員のお二人も（西ヶ原仕込みの？）酒豪振りを存分に発揮されていたようでした。

早速、7月24日には、外語会定例理事会に於いてモントリオール支部の結成を正式に御承認いただいたとのこと、大変有り難いことであります。会員数が少なく、今後の活動も未定ですが、外語会会員の皆様、モントリオールにお越しの際はどうぞご一報下さい。以下、会員のコメントです。

金子：熊本を出てから2年半にして私に課されておりました支部結成ができ、そのことを言われた先輩諸氏に朗報として受け取られたことが特にうれしかったです。外語会のホームページを見てもっとビックリしたことは、カナダ全体に外語会支部が皆無だったことでした。モントリオール支部はカナダ支部の第1号だったので。カナダでも一番古い歴史のあるモントリオー

ルですから、外語会支部の歴史上でも一番古い歴史があっても当たり前なのですが、そんなことも知らずにいった快挙だったのではないかと思います。

角田：カナダ国内初の支部会とのこと、嬉しい限りです。これもひとえにジェトロモントリオール事務所、金子眞哉所長のお陰です。心より感謝申し上げます。

阿部：7月のモントリオールは、日本ほどではありませんが当地としては歴史的猛暑で、情けないことに夏バテ気味になっていたのですが、外語会モントリオール支部発会にあたり、先輩後輩の皆様の御活躍振りに触れ、とても励まされました。皆様どうぞお体を大切に。

なお、都合により、天野及び宇都宮の発会コメントはありません。



秋田支部

幸野 稔（E昭36）

東京外語会秋田支部総会が7月10日（土）かつての大横綱「大鵬」ゆかりの榮太楼で開催されました。今回は、今年4月に秋田に開学した国際教養大学学長に就任した中嶋嶺雄氏（C昭35）をはじめ、外語大ゆかりの国際教養大学の先生方をお招きしました。総会ではまず、秋田支部に多大な貢献をなされた石井彪氏（I昭12）への黙祷が行われました。幸野稔秋田支部長が石井氏の功績を述べ、また国際教養大学へ秋田支部としても全面的に協力すると挨拶をしました。この会のために来秋された中村博外語会理事長（E昭29）、中嶋嶺雄学長の挨拶をいただきました。その後議事に移り、支部役員として、支部長幸野稔、幹事長米田進（E昭50）、幹事佐藤康一（C平5）、同じく幹事佐藤浩一（E昭58）に加え、新たに中嶋学長に顧問に入っても

らうこと、また田沢湖高原研修施設管理人伊藤正次氏を会員とすることが満場一致で決定されました。記念撮影の後、懇親会が始まりました。東京外語会提供の大学歌のCDをBGMにして、とても盛り上がりを見せました。出席者一人一人の挨拶では、互いの近況を紹介しあい、また再会を約束しました。出席者は以下の通りです。中村博（理事長）、中嶋嶺雄、吉尾啓介（E昭55）、宇佐美滋、勝又美智雄（E昭47）、鮎澤孝子、河津基（以上国際教養大学）、佐々木清一（F昭14）、高橋正美（S昭19）、幸野稔、小西尚志（D昭37）、井澤徹（E昭40）、木村三紀子（R昭48）、米田進、佐藤暁（F昭55）、倉部美知子（A昭57）、佐々木眞砂子（K昭60）、大友俊（E昭63）、佐藤康一、白幡真紀（Po平6）、金子亜希（E平9）、小林康（Po平13）、藤田義人（E平15）、佐藤浩一



ロンドン支部

小倉かおる（R昭59）小倉正広（D昭57）

2004年春、ロンドン外語会は以下の新幹事団体体制になりました。その後の2～7月の活動概況をまとめました。新年会、忘年会の他にも、有志の会の頻度もますます上がって、盛り上がっているようです。ロンドンご来訪の方々には是非とも気軽にご参加くださいますように、お待ちしております。新幹事団：会長：酒井一雄（E昭48）、企画：横川正博（F昭53）、会計：福田昭久（D平2）、新年会：今野里美（I平2）、会報：小倉かおる、広報：相原啓人（Ma平14）、名簿：荻野倬也（F昭46）

◆安井純子さん（C平1）送別会：2月20日（金）ロンドン中華街にて。安井さんには2年間、広報担当をやっていただきました。現地法人責

任者という大変忙しいロンドン生活の中で、外語会の出席率は超優等生でした。カフェ・デ・ザミ・デュ・ヴァンにて。石丸さんには2年間、会計担当をやっていただきました。今回幹事の横川さんと帰任した蓮見さん、石丸さん、安井さんら多くの外語会メンバーがお世話になっていたワイン教室講師のステーブソン美代子さんも特別参加。

◆「国境なき医師団」日本支部会長、寺田朗子さん（F昭50）を囲む会：6月12日（土）沖縄料理「やんばる」にて。前日はロンドンJETROで当日は地方の日本人学校で講演をされて大好評だった寺田会長、お忙しいスケジュールの中で外語会メンバーとの夕食にもおつきあいいただきました。



◆NHK欧州総局長、大貫康雄さん（D昭47）送別会：6月17日（木）中華街「New World」にて。NHKの報道の裏話を含め、幾多の興味深いお話をお聞かせいただきました。いつも、Royal AscotかWimbledonでも似合いそうな白い帽子でおしゃれに決めておられた大貫さん。番組プロデューサーとしてのご活躍の近況もお聞かせ願いたいです。

◆「夏の外語会」。指揮者、村中大祐さん（D平2）を囲む会：7月9日（金）イタリアンワインバー「ロステリア57」にて。イタリアと日本を中心に活躍中の村中さんに講演をお願いし



たあと、音楽論、教育論、比較文化論等々4時間に渡り活発な意見交換が行われました。オペ

ラ歌手の榎本明子さんやロンドン大阪外語会の古川会長も特別参加されました。

◆のど自慢に臨む登道孝浩さん（E平14）を励ます会：7月8日（木）&16日（金）ロンドン市内カラオケにて。22日に行われるNHKのど自慢イン・ロンドン予選会に臨む登道さんの激励と歌唱指導、振付け検討、衣装選択を兼ねて、先輩方と有志が彼を囲んで集合しました。惜しくも本選進出はなりませんでした。彼のステージは会場を沸かせて、宮川アナウンサーからは「日本のラップとして紹介してはどうでしょう？」と大好評を得ていたようです。

◆外語会有志によるゴルフ会：7月24日（土）ロンドン郊外にて。広沢明（D昭40）、酒井一雄、横川正博、岩本克巳（Po平2）と60/50/40/30代の4世代の4氏が一緒にゴルフを楽しむことができました。

熊本支部

山内良一（E昭34）

去る4月14日、久しぶりに熊本支部の会合を開きました。熊本支部は登録会員13名、この他に特別会員3名（元熊本支部会員で転勤等で熊本を離れたが、メール、電話等で今でも交流のある方）で構成されていますが、皆さん現役世代で多忙のため、なかなか会合の機会がありません。今回も漸く5名の参加でしたが、荻野蔵平氏（D昭53）の初参加もあり、楽しく会話が弾みました。他の参加者は伊井恭子（F昭61）、村上まどか（E昭62）、野田明（F平3）の各氏と山内



でした。支部長は歳の順で一応山内が務めておりますが、名簿の作成や会合の設営、会員への連絡などは幹事の野田氏にご足労いただいております。まだまだ懇親が主体の小さな支部です

が九州に熊本支部ありとご記憶頂き、なにかありましたら、また熊本在住の方でまだ当方で把握しきれていない方、あるいは転勤などで来熊される方がありましたら、是非、山内《勤務先：くもとファズ（株）TEL096-354-6687 e-mail:faz-inf2@axel.ocn.ne.jp》までご連絡いただければ幸いです。

ウイーン外語会

奥村和子（E昭50）

今年の夏はあまり好天に恵まれないウイーンですが、外語会を開きました6月26日だけでも良い天気になり楽しい会を開くことができ



ました。今回はアルテドナウの辺にあるレストランで行いました。幸い好天に恵まれ夜10時まで屋外でドナウの景色を楽しみながら食事をすることができました。参加くださったのは茶野さん夫妻、熊田さん夫妻、大門さん、三村さんでした。青木さんは参加の予定でしたが直前に取材が入り残念ながらいらっしゃれませんでした。三村さんは8月にデュッセルドルフに引越す事になり残念な今年が最後の出席になりました。色々楽しい話に花が咲きましたが、特に茶野さんのいつまでも白髪にならない秘密の理由には一同驚きを禁じ得ませんでした。

長野支部総会・懇親会のお知らせ

日時 11月6日（土）3時～3時半 総会、
3時半～ 懇親会

場所 松本市中央1-5-18日華楼

JR松本駅から徒歩3分、電話（0263）32-0019
会費6,500円 出欠など詳しくは10月31日まで
下記へTel・Fax（026）244-8574

外語会長野支部幹事長 岩下 隆（C昭45）